

『Safari+絶品グルメ』2021年6月22日発売号で、

“スラ・ブリュット”が紹介されました。

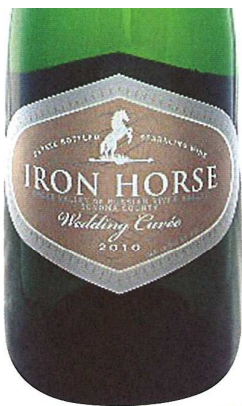


スパークリングワインとは呼ばせない!“タダモノ”ではない世界の“泡モノ”

降り注ぐ太陽の下、テラスでキリリと冷えた泡モノを手に乾杯。そんな休日が恋しい季節がやってきた。で、主役の泡はいったいなにを選ぶ!?フランスのシャンパンが王道だけど、イタリアやスペイン、そして世界各地には“タダモノ”ではない泡モノがほかにもある。生産地や製法などによって名称が決まる“泡モノ”の全容を、ここで紹介!

世界各地の実力派 泡モノ大集合!

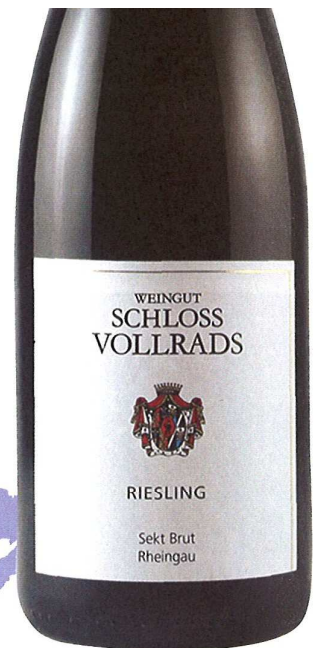
SULA スラ・ブリュット 近年注目度が急上昇中のインド産。辛口の泡は、リンゴや洋梨の香りと瓶内二次発酵による複雑精妙な味わいで“インドのドンペリニオン”とも呼ばれるほど。インド版オリエントエクスプレスでも提供。



PART IV 世界編

世界各地の実力派 泡モノ大集合!

美味しいスパークリングの産地がフランスやイタリア、スペインだけだと思ったら大間違い! 世界には製法にこだわった“タダモノ”ではない泡モノがまだまだたくさんある。ドイツやイギリスなどのヨーロッパ諸国はもちろん、アメリカやオセアニア、アジアなどの新世界でも高品質の泡が続々登場。世界一周して、個性の違いを飲み比べるのも楽しい!



 [シモンシビ] **SIMONSIG**
シモンシビ カーブス・フォンケル・サテン・ネクター

ワイン銘醸地、ステレンボッシュにある、南ア屈指の独立系ワイナリーの1本。黄桃・マンゴのたっぷりとした風味、リッチな甘味が染みわたる。食前酒としてはもちろん、スパイスな料理とも好相性。2970円 (世界のワイン 葡萄屋)



 [スラ] **SULA**
スラブリュット

近年注目度が急上昇中のインド産。辛口の泡は、リンゴや洋梨の香りと瓶内二次発酵による複雑精妙な味わいで“インドのドンペリニオン”とも呼ばれるほど。インド版オリエントエクスプレスでも提供。2840円 (出水商事)




 [クラウディーベイ] **CLOUDY BAY**
クラウディーベイペロリユス

NZワインの価値を高めたアイコンワイン〈クラウディーベイ〉のスパークリング。リンゴや柑橘系のフレッシュなアロマ、蜂蜜やブリオッシュの風味、クリーミーで複雑な味わいが魅惑的。4257円 (MHD モエヘネシー ディアジゴ)

 [アルガ・ブランカ] **ARUGABRANCA**
アルガ・ブランカプリリヤンテ 2017

山梨県産のブドウ、甲州を100%使い、丁寧に瓶内二次発酵で仕上げた。日本産のスパークリングらしい、甲州の優しさと“プリリヤンテ”(儼然と輝く)の名のとおり、弾ける爽やかさが魅力。和食や寿司とも好相性。5500円 (勝沼醸造)



 ニュージーランド